

覗いてみよう! ~舞台の裏側~

演劇、落語、パレエ、ミュージカル、コンサート…様々なエンターテインメントが行われる舞台。その裏側ではいったい何が行われているのでしょうか。私達が劇場で快適に過ごすことのできる理由や、魔法のように次々と雰囲気が変わる舞台上の仕組みは、よく観劇に行く人も、そうでない人も一度は気になったことがあるはず。今回の記事では、普段見ることのできない舞台裏を覗いていきましょう!

舞台裏にはどんなお仕事があるの?

用語集

知っているようで実はよく知らない? そんな言葉たちを集めてみました!

- ・**上手**(かみて)…客席から見て舞台の右側のこと。
- ・**下手**(しもて)…客席から見て舞台の左側のこと。
- ・**アドリブ**…台本にない即興のセリフや歌詞。コメディ作品では時事ネタやメタ発言を盛り込むこともある。
- ・**マチネ**…昼公演のこと。
- ・**ソワレ**…夜公演のこと。
- ・**ダブルキャスト**…一つの役に対して二人のキャストが交代で演じること。数ヶ月に渡る長期公演の場合に多い。
- ・**アンサンブルキャスト**…一つの作品の中で、役名のない複数の役を演じる役者のこと。サンボと略することもある。
- ・**SE**(サウンドエフェクト)…音響効果のこと。銃声・嵐・馬の鳴き声などなど、ありとあらゆる種類の音で舞台をよりリアルに彩る。ごくまれに場面とは違ったSEが鳴るハプニングもある。
- ・**千秋楽**…最終公演日のこと。各地方をめぐる公演の場合は、地方ごとの最終日を千秋楽、最終地点での本当の最後の公演を大千秋楽という。楽(らく)ともいう。
- ・**カーテンコール**…物語が終わった後に、役者が順番に登場すること。観客は目一杯の拍手で迎えます。

照明

一口に照明器具といっても、天井に設置されており、向きのみ変えることのできるスポットライトや、舞台上で動く人を追って照らすフッロー用スポットライトなど、用途によって様々な種類が存在しています。また、照明は人を照らすだけでなく、光の三原色を利用して背景に色をつけることで舞台上の印象を変え、役割も担っています。



2階の照明室内に設置されているこの機械は「調光卓」といい、様々なシー

幕

舞台上には緞帳をはじめとする幕がいくつかあり、写真のような装置を使い上下させます。写真に写っている綱を引くこ



スポットライトを実際に動かしてみたださっている渡邊さん。こうして舞台上で演じる人を照らします。



「ティーンズ・フェスタ・イン・めぐろ」の会場としても馴染みの深い区民センターホール。私たち「めぐろ」編集部員が舞台に立ち「めぐろ」を紹介したこともあります。



所在地：目黒区目黒二丁目4番36号
アクセス：
JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線
目黒駅から徒歩10分
東急バス 権之助坂バス停から徒歩5分
東急バス 田道小学校入口バス停から徒歩2分

大道具

とで舞台の背景の幕を下ろすことができます。また、綱元(つなもと)という道具を使い、どの高さまで幕を下ろすのか調節しています。

舞台上の演出をより華やかにする大道具。これらを設置する場合、主催者側が業者に頼みます。演目などにより沢山の種類がありますが、今までは、なんと2日間かけて舞台上に丸太小屋が設置されたこともあるそうです!



衣装・ヘアメイク

衣装の製作は専門業者や会社が行います。また、劇団などでは団員自身が作成することが多いそうです。ヘアメイクも主催者が自ら行います。



ホール責任者兼照明担当
渡邊広宣さん



今回お話を聞かせていただきました、区民センターホールの渡邊広宣さんです。渡邊さんは主に照明を担当しています。今回の取材では実演も混じえながら丁寧にお話をしてくださいました。舞台に立つ方々を支えるこのお仕事に、大きなやりがいを感じていらっしゃるそうです。

●私は舞台を観に行くことが好きでしたが、今まであまり触れてこなかった舞台裏について詳しく知ることが出来てとても楽しかったです。また、現在のコロナ禍で舞台を観に行くにあたり、気をつけた方がいいことがわかったので、これからはホールで働いている方々の迷惑にならないよう意識したいと思いました!(美音) ●私は日頃、様々な舞台芸術を楽しませていただいているのですが、私達観客が見ることができるのは公演中の舞台上のみ。長い間気になっていた舞台裏での工夫や行われていることを知ることができ、非常に興味深かったです。今回この記事を担当させていただいたことで、また一つ観劇に行く際の楽しみが増えました。(琴里)

区民センターホールのコロナ対策

新型コロナウイルス感染症対策で以前と変わったところも多くあるそうです。主に人数制限や、数ヶ月の休館が行われたこともあります。また、人数は2分の1に制限されており、対策はばっちりとなっています。スタッフの方々は常にアルコール消毒、マスクの着用、人との接触には特に気を付けているそうです。その他にも感染対策はホール側のみに留まらず主催者側に委ねられている部分もあるそうです。

令和2年12月22日現在

